



イヨスダレ絵図 目八譜 天保 14 年(1843 年)

マルスダレガイ科 殻長 4cm。殻は薄質、膨らみは弱い、殻表は光沢があり、紫褐色の地に濃色の放射状の網目模様が放射状に配列、美しい貝だが、本海域のものは、そうとも言えない。分布は房総半島以南。

ウスカラシオツガイ *Petricola* sp.

イワホリガイ科 移入種。ただし原産地は不明(地中海・南米等)。1980 年代日本で見られるようになった。京浜運河で 1987 年(青野良平)。殻長 1cm 頃から成長と共に殻が不規則に歪み不定形となる。殻は薄質軽量。学名の *Petricola* とはラテン語で岩に棲む者。イワホリガイ科の貝は、通常、柔らかい岩に穴を彫って生息するが、本種には、そのような知見は無く、ムラサキイガイの群落の中等に生息。

*岡本正豊(2008 年) 千葉市人工海浜のウスカラシオツガイについて ひたちおび 109



千葉市幕張の浜(岡本正豊 2004 年 9 月)



羽田空港浅場



千葉市検見川の浜（水管を伸ばした状態）岡本正豊 1997

ウネナシイトカケ *Amaea (Acrilla) acuminata* (Sowerby)



イトカケガイ科 殻長 5cm。殻表は淡褐色で光沢がある。分布は紀伊半島以南、生息水深は80-150mとされているが、水深5mラインで生貝を採捕(2007年5月2日 羽田空港浅場)。